

授業実践 単元名

ポスターの秘密をさぐろう

熊本大学教育学部附属小学校 前田康裕

1. 教科 図画工作

2. 高学年

3. アプリケーション Adobe Photoshop Elements (アドビフォトショップエレメンツ)

4. ねらい

- 自分の考えたポスターと本物のポスターを比較することで、本物のポスターに含まれる「効果的に伝えるための要素」に気づくことができる。
- 学校生活の中で気づいたことを写真に撮影し、「効果的に伝えるための要素」を活かしながらポスターを制作することができる。
- 写真の撮影、画像と文字の合成などができる

5. 作品例



6. 活動の流れ

- 1時間目: コンピュータ会社の社員になったつもりで、コンピュータ販売促進用ポスターのアイデアスケッチを描く。その作品と実際に使われているポスターを比較して、本物のポスターに含まれる「効果的に伝えるための要素」を話し合う。
- 2時間目: 学校の中で気づいたことを写真に撮影して、アイデアスケッチを描く
- 3, 4時間目: 撮影した写真を使って、学校生活を改善するためのポスターを制作する。
- 5時間目: みんなの作品を鑑賞し、この授業で何を学んだのかを話し合う

7. 授業のコツ

最初に、何も見せずに「販売促進用のポスター」を描かせることです。ほとんどの子供たちは、真ん中に大きく「売りたいもの」を描き、たくさん文字を入れるはず。そこで、はじめて「本物のポスター」を見せます。そこに驚きがあり、さまざまな発見をするはず。

単元の最後に、はじめに描いたポスター」と実際に制作した作品を比較させます。自分の「学び」が明確になりましょう。



8. 授業実践者 前田康裕 熊本大学教育学部附属小学校

ポスターをつくろう

熊本大学教育学部附属小学校 前田康裕

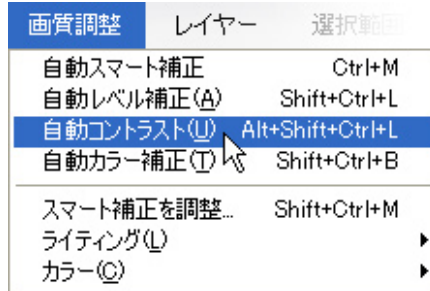
KEY WORD - 文字ツール レイヤースタイル

1. 画像を準備する



2. 修正する

「画質調整」メニューにある「自動スマート補正」などを使って、きれいに見えるように修正します。
([写真編集モード])



3. 文章を入れる

「T」のアイコンを選びます。

文字の種類: 平成丸ゴシック Std

文字のサイズ: 48 pt

文字の色: カラー: [Red]

家に帰りたい・・・

ボールは元の場所に返しましょう。

文字の形や配置を考えながら、効果的に文字を書き入れます。

4. 文字を加工する

文字のレイヤーをえらんで、「スタイル・エフェクト」パレットの「レイヤースタイル」を開いてみましょう。ドロップシャドウやラスチックなどを使うと、文字を加工することができます。

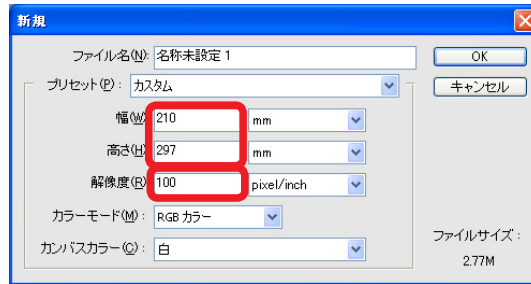
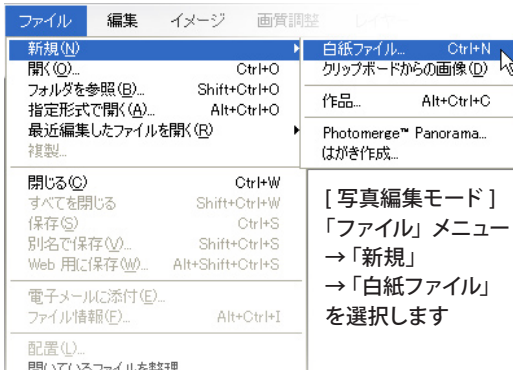


色のついた背景に写真を合成したい場合

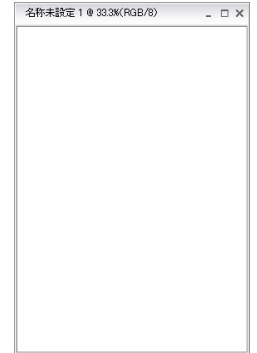
熊本大学教育学部附属小学校 前田康裕

KEY WORD - グラデーションツール 選択ツール ぼかし

1. 背景を準備する

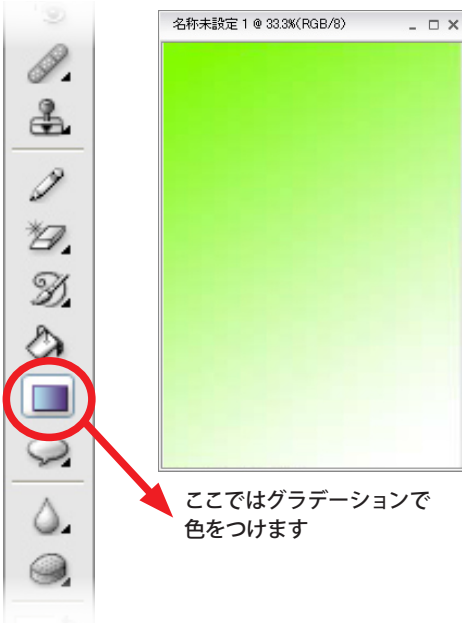


「プリセット」から紙の大きさを指定すると、「幅」と「高さ」に数値が入力されます。解像度は100または150程度にします。



白い背景が準備できました

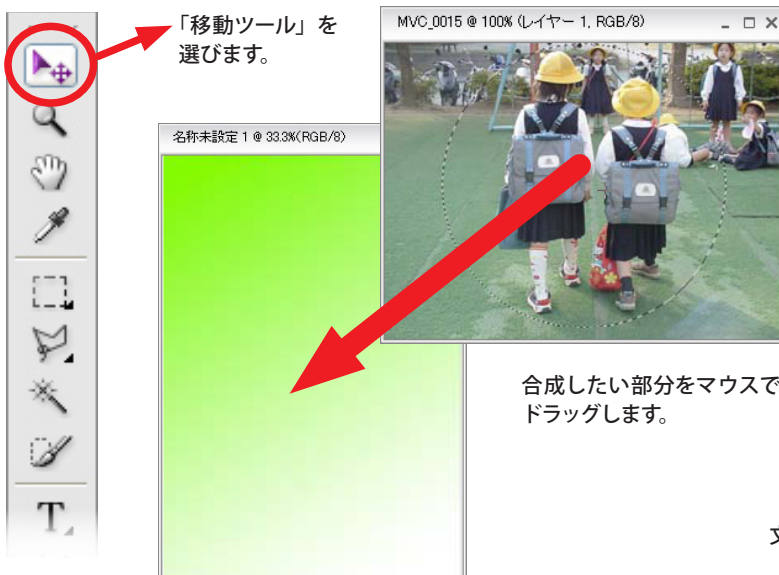
2. 背景に色をつける



3. 合成したい写真の部分を選択する



4. 文字を加工する



合成完了です。
文字を入れましょう。

